

令和元年度 決算報告

市では毎年、予算・決算などの財政状況を公表し、市民の皆さんから納めていただいた税金がどのように使われているのかをお知らせしています。
今回は、令和元年度決算の概要などをお知らせします。
【財政課】

今月号に掲載の催しなどは新型コロナウイルス感染症の影響により中止または延期となる場合があります。催しの詳細は、市ホームページなどをご確認ください。

目次

- 3 特集 令和元年度 決算報告
- 8 特集 つなげよう みんなの笑顔
- 10 情報ワイド
 - ▶感染症を予防しましょう
 - ▶スポーツ推進事業
 - ▶橋本市職員追加募集
 - ▶パブリックコメント募集 など
- 14 情報ひろば
- 20 タウン情報
- 21 子育てぱーく
- 22 本のひろば
- 23 健康カレンダー
- 24 フォトトピックス

一般会計決算の状況

歳入総額 **264** 億円

地方交付税 84億円 (31.8%)
地方自治体の収入格差を少なくするために、人口や税収などに応じて国から配分されるお金

市税 69億円 (26.1%)
前年の所得や所有する土地などに応じて市民から納めてもらう税金や会社からの法人税

市民1人当たりの負担約11万円
令和元年度末住民基本台帳登録者数より算出

国庫支出金 32億円 (12.1%)
特定の事業のために国から配分されるお金

市債 20億円 (7.6%)
財政収入の不足や世代間負担の公平性を補う借入金

県支出金 19億円 (7.2%)
県から配分されるお金

繰入金・繰越金 8億円 (3.1%)
基金や他会計からの繰入金

その他 32億円 (12.1%)
ごみ処理手数料や寄附金、施設使用料や分担金など

市民1人当たりのサービス約41万円
令和元年度末住民基本台帳登録者数より算出

幼児教育・無償化などが令和元年度から始まったことにより、前年度に比べ約4億円増加しました。

普通交付税の増加により、前年度と比べ約5,000万円増加しました。

消費税率10%への引上げに伴うプレミアム付き商品券事業の実施などにより、前年度に比べ約10億円増加しました。

退職者の人数が少なかったことによる退職金の減少や職員数の削減効果により、前年度と比べ約2億円減少しました。

(仮称)あやの台北部用地開発関連経費が特別会計に移行されたことなどにより、前年度と比べ約3億円減少しました。

地域づくり基金、ふるさと応援基金の取崩しの増加により、前年度と比べ約3億円増加しました。

小中学校空調設備設置工事や学文路地区公民館建設工事の実施により、前年度と比べ約5億円増加しました。

歳出総額 **259** 億円

扶助費 54億円 (20.8%)
児童・高齢者・生活困窮者を援助するなど住民福祉を支えるための経費

補助費等 40億円 (15.4%)
各種団体などに対する補助金・負担金など

人件費 39億円 (15.1%)
職員給与・議員報酬など

公債費 37億円 (14.3%)
借入金(市債)の償還金

物件費 36億円 (13.9%)
委託料や使用料、消耗品・備品購入などの経費

繰出金 29億円 (11.2%)
特別会計へ支出したお金など

普通建設事業費 16億円 (6.2%)
道路や施設の建設、大規模改修経費など

その他 8億円 (3.1%)
維持補修費・災害復旧・事業費など



橋本人権擁護委員協議会 橋本市部会会長
千品 泰造さん (東家)

人権擁護委員になって7年目になります。さまざまな啓発活動を行う中、小学生を対象にした人権教室では、いつも緊張してしましますが、授業を通して他人への思いやりの大切さを少しでも多く子どもたちに知ってもらえればと一生懸命頑張っています。
また、人権相談についても随時受け付けていますので、悩みごとや困りごとがありましたら、どんなことでも相談してください。
これからも人権擁護委員として、人権を尊重した思いやりのある社会となるよう、努力していきたいと思っております。

今月の表紙



杉村やすらぎ広場で行われた青空まつりで、橋本市の柿の魅力をPRする橋本かき大使の村嶋さん(左)と野川さん(右)。